# 国の成り立ち

　アース人が到達

　アース人国家が乱立

　余った土地がなくなり、戦国時代が始まる

# 全国統一

　全国統一の流れが始まる

　数々の武将が全国統一のために国を吸収していくが失敗していく

　トリコニア・メルがウィング革命を起こし、全国統一を達成。国名をウィング帝国とし、初代国王になる

# メル王朝

　寒い地域でも育つ麦類や大豆の畑を作り生活を豊かにした

　アトランタと貿易を開始。大豆と麦を鉄や銀などの金属と交換した

　貿易した鉄を使い、南部地域で工業を行うようになる。このころからアトランタと技術の貿易も行うようになる

　3代目国王アーロック・メルの時代にケープ帝国の襲撃に遭い、東側の土地を奪われる

　その後、その地域はケープランド民主共和国として独立し、ケープ帝国の属国となる

　ケープランド民主共和国はケープランド革命によりケープ帝国から独立し、ケープ自由国となる

　8代目シルヴィア・メルの時代に寒冷化の影響でウィング大飢饉が起こると王家への反感が強まる

　9代目ドロワーズ・メルの代にウィング革命が起こり、メル王朝滅亡

# 連邦時代

　メル王家が滅んだことにより、国名をウィングランド連邦に改める

　ユーラネシア産業革命が起き、南部の工業地域が栄える。その後、ウィングランド本国の政治的影響を受けないシュタイン特別自治区ができる

　ハイゼンベルク革命が起き、シュタイン工業国として独立

# 第一次世界大戦

　東翼同盟としてアスガルド、フラーヴとともに戦争に参加

　アスガルドが軍用兵器の製作法を教え、シュタイン工業国で大量生産を行った

　東翼同盟で合同軍事訓練を行い、兵力を増強

　アスガルドが行った徴兵法を採用

　新兵器オートキャノンを開発

　1500年東翼同盟が勝利、国はより豊かになった

# 農業と工業

　北部は農業、南部は工業と2つに分かれたウィングランド

　2国は援助しあう関係になり、ウィングランド同盟を組み、シュタイン工業国からウィングランド工業国へ名前が変わった

# 第二次世界大戦

　後方支援として参加

　シャワー群島を制圧し、フローターランド攻撃の要とした

　ンリッヒ産の弾道ミサイルでフローターランドを攻撃し、陥落させた

　本土がコーリプス軍のバカガラスで攻撃され大きな被害を受け敗戦

# 戦後復興

　敗戦国のため戦勝国の傀儡になる

　アトランタとデバスタティオ条約(不平等条約)を結ぶ

　アクリアが自治区を作り軍事施設を建設

　隣接しているケープランドからの支援を受け、その支援金を使いインフラを整備

　コーリプスから近代建築の技術を教えてもらう

　近代的な建物が建ってくる

# 戦後経済革命

　日本でいう高度経済成長期

　アスガルドとニヴル同盟を結び経済支援を受け、ウィングランド工業国にコンビナートが数多く建築されGDPが向上

　ウィングランド連邦では作物の品種改良が進み、寒さに強い作物を作ったり、酒・コーヒーといった飲料を生み出した

　ウィングランド連邦とウィングランド工業国での経済革命のおかげで戦後復興を果たした

# その後

　ケープランドとアメリアタウン同盟を結んだ

　アクアート人追放

　第3地域に経済支援を開始、その後第3地域の国々とナトー平和経済条約を結び、同盟国となった

　今はアクアート人に荒らされた国々のサポートなどを行っている